

キャラクター名
試作型多層人格通信装置第三号-"彩花"-

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	レネガイドビーイングD	カヴァー	UGN本部エージェント
	ブラックドッグ			年齢	17(見た目)	性別
オプション			年齢	17(見た目)	性別	女性型
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	42	%
出自	結社の一員	経験	死と再生	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	55
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
機械仕掛けの神	P	N			
"私たち"	P 連帯感	N 憐憫			
神城 弦一郎	P 傾倒	N 依存			
高坂 瑛太	P 誠意	N 隔意			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:ブラックドッグ	2	2						
効果:	C-Lv							
鋼の馬	2	2	Xジャー			<運転>		
効果:	判定D+Lv							
加速装置	5	2	セットアップ°					
効果:	行動値+[Lv*4]							
ヴァジュラ	5	3	セットアップ°					
効果:	攻撃力+[Lv*3] 暴走化							
雷鳴の申し子	1	5	Xジャー					
効果:	攻撃力+[最大HP-現在HP] HPOに							
自爆装置	5	4D10	オート					
効果:	[Lv+2]D、HPダメージ							
ヒューマンズネイバー	1	基5	常時					
効果:	衝動判定+LvD							
オリジン:サイバー	1	2	マイナ					
効果:	シーン間の【社会】達成値+[Lv*2]							
D:ハードワイヤード	5	基4	常時					
効果:	ダーマルプレート*5 取得							
タッピング&オンエア	★	1						
効果:	情報処理は一流のものと自負しております。							
シークレットポケット	★							
効果:	隠せるものも無ければ、内偵等務まりませぬ							
効果:								
効果:								

PC(かな)-さいか(アヤ)
CN(かな)-でんれいのはこ

強化外骨格用に調整されている人工RB。人間用の兵器に搭乗するため、肉体は人間型に調整されている。アクシズ付の兵士であり、決戦兵器『機械仕掛けの神』に搭乗できる唯一の存在である。一人称は、『私たち』 外骨格の装着に支障が出ないよう、小さめに設計されている。

表情筋が硬く、感情の起伏が少ない。任務や直属の上司である神城 弦一郎の言葉に忠実に従う。しかし人間らしい感情が無いと言われるとそんなことも無く、ユーモアを解し厳しい言葉には凹む、年相応の女性らしい反応を返す。ただ、ことごとく表情筋がご臨終のため、真顔から飛び出すジョークは全てシュールギャグと化し、中々理解してもらえず、やっぱり凹む。しかし、やはりその価値観や倫理観はRBの其れになるよう調節されており、戦闘行為に対してまったくの躊躇は無く、人命を奪うような行為に対しても脳機能のストッパーが外れれば容赦なく実行する。

人工RBである存在は、実存する肉体ではなく、その精神性にこそある。彼女は今、複数のRBによって並列稼働されているクラウドコンピュータに接続された状態で稼働を続けている。その総数は稼働当初は50期だったが、増産が繰り返され現在は283の人工RBがクラウドに接続している。万が一通信が切れても自立稼働が可能になるように一つの人格のみを素体に事前にダウンロードし、接続中は他人格とのリアルタイムの情報共有・処理を以て事態に当たっている。

また、より人間的な精神構造に近づけるため、肉体における衝撃がオーヴァードの致死域に達した場合、あるいは肉体が大きく崩壊した場合、ダウンロード済みの人格をその場でデリート。次人格をダウンロードする仕組みになっている。

コレは『死』の概念をより明確にし、死ぬ感覚を他の人格にも引きつがせる目論見がある。

……オーヴァードの増加や科学技術の発展で『死』が遠くなった現代において、もっとも死に近いのが『死』を遠ざけたレネガイドウィルスそのものである、というもなんと皮肉な話だ。